

# 論文問題

令和8年施行 職員採用試験

指示があるまで開いてはいけません。

## 注意

1. 問題と解答用紙は別になっています。必ず解答用紙に解答してください。
2. 問題は1題です。
3. 解答時間は1時間30分です。
4. 論文字数は、1,000字以上1,500字程度です。字数は、文字が記載されている行ごとに20字として数えます。ただし、(1)又は(2)のみが記載されている行は、字数に含みません。なお、論文字数が1,000字に満たない場合は採点されないことがあります。
5. 解答に当たっては、解答用紙の表紙に記載された注意をよく読んでください。
6. 下書き等は、この冊子の余白を利用してください。
7. この冊子は持ち帰ることができますが、解答用紙は絶対に持ち帰らないでください。
8. 係員による試験開始の指示の後、乱丁・落丁等がないことを確認した上で、解答を始めてください。

## 問 題

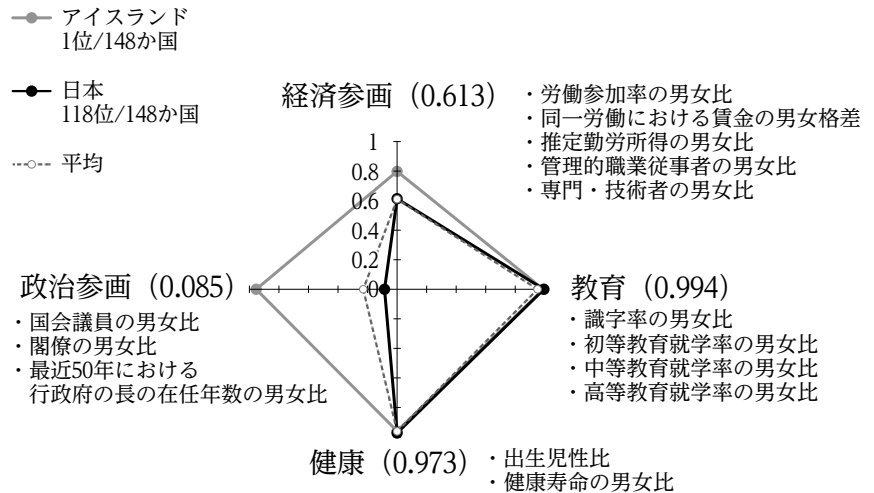
- (1) 別添の資料から、性別にとらわれず、誰もが活躍できる社会の実現に向けて、あなたが重要であると考えer課題を200字程度で簡潔に述べよ。
- (2) (1)で述べた課題に対して、都はどのような取組を進めるべきか、あなたの考えを述べよ。

なお、解答に当たっては、解答用紙に(1)、(2)を明記すること。

# 資料 1

## 2025年版ジェンダー・ギャップ指数の国際比較

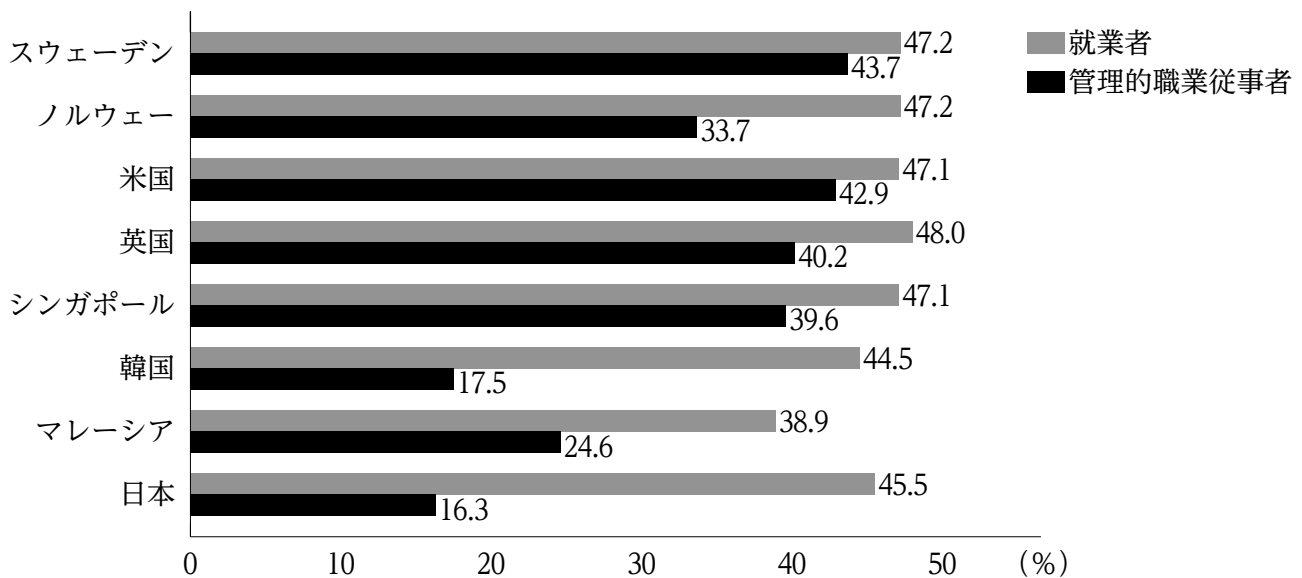
1位	アイスランド
2位	フィンランド
3位	ノルウェー
4位	英国 <b>G7 首位</b>
101位	韓国
103位	中国
117位	アンゴラ
118位	日本 <b>G7 最下位</b>
119位	ブータン



注1：ジェンダー・ギャップ指数・・・スイスの非営利財団「世界経済フォーラム」が、経済・教育・健康・政治の分野ごとに各国の男女間の格差を数値化しランク付けしたもの

注2：括弧内の数値は、日本の指数

## 各国の就業者及び管理的職業従事者に占める女性の割合

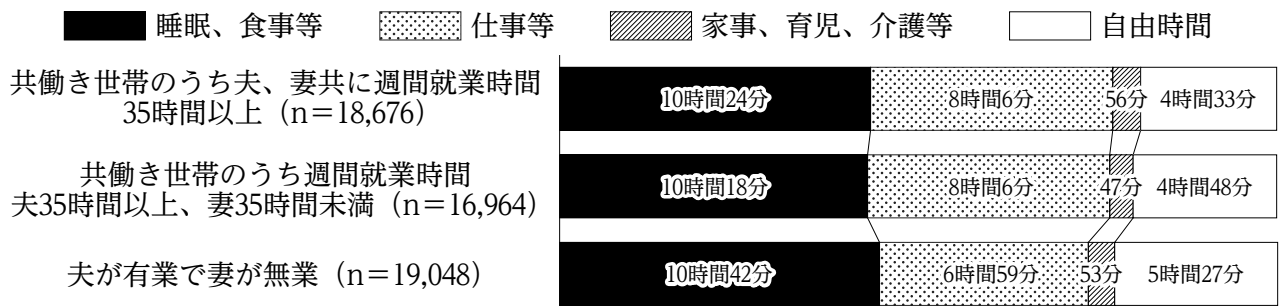


出典：「東京都の女性活躍施策・成果のご紹介」（令和7年12月）より作成

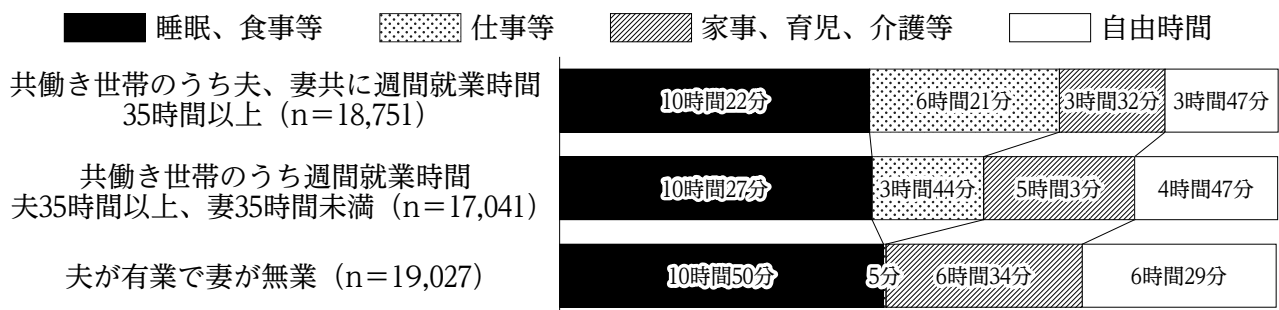
## 資料 2

### 世帯形態別夫婦の生活時間（週平均）（全国）

#### <夫>



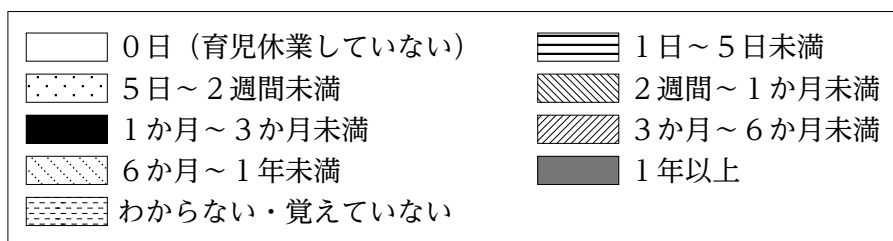
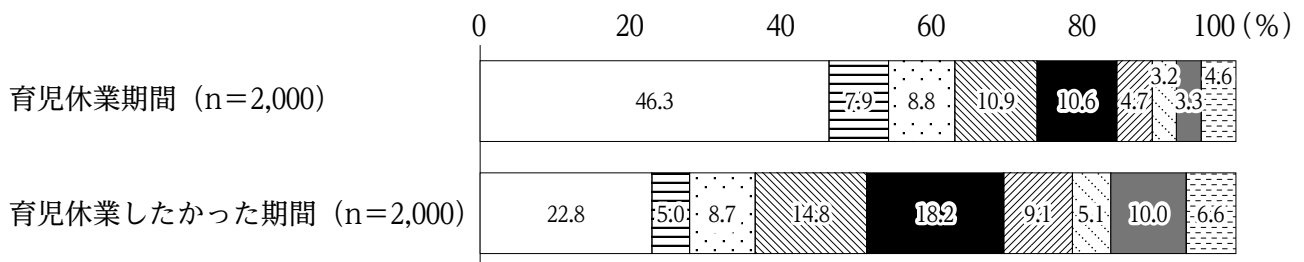
#### <妻>



注：数値は四捨五入しているため合計が24時間とならないことがある。

出典：「東京の男女平等参画データ2025」（令和7年3月）より作成

### 育児休業した期間及び育児休業しなかった期間（都内の男性子育て世代）



注：数値は四捨五入しているため合計が100%とならないことがある。

出典：「令和7年度男性の家事・育児実態調査報告書」（令和7年11月）より作成

## 資料3

※ この部分は、著作権の関係により、掲載できません。

出典：令和7年8月29日 朝日新聞朝刊より作成